

東京データプラットフォーム協議会 第6回防災データWG

事務局資料

令和4年9月16日

令和4年度 第6回防災データWG アジェンダ

令和4年9月16日（金曜日） 13時45分～14時45分

1. 取組概況とユースケース具体化に向けた検討方針の提示

民間事業者の取組事例を題材に、TDPFに必要な機能、連携のあり方等を検討

2. 防災データ活用の取組紹介

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 自治体向け防災アプリ等のサービス | - アールシーソリューション株式会社 |
| 「ArcGIS」を活用した防災の取組 | - ESRIジャパン株式会社 |
| 自治体向け防災ダッシュボード | - 三井住友海上火災保険株式会社 |

3. 今後の進め方

令和4年度 第6回防災データWG アジェンダ

1. 取組概況とユースケース具体化に向けた検討方針の提示

民間事業者の取組事例を題材に、TDPFに必要な機能、連携のあり方等を検討

2. 防災データ活用の取組紹介

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 自治体向け防災アプリ等のサービス | - アールシーソリューション株式会社 |
| 「ArcGIS」を活用した防災の取組 | - ESRIジャパン株式会社 |
| 自治体向け防災ダッシュボード | - 三井住友海上火災保険株式会社 |

3. 今後の進め方

今年度の活動方針

今年度の活動方針

- ・ 昨年度検討したユースケースの実装に向け、データ収集・提供方法等を具体化
- ・ 防災関連のデータ利活用事例の創出を継続

令和3年度の実績（振り返り）

- ・ WG活動及びアイデアソンを経て、
発災時や平時のデータ利活用ニーズと課題の検討

- ① 発災時の避難情報やインフラ稼働情報を活用するシーンを導出することができた
(店舗運営の判断、物資輸送など)
- ② 発災時及び平時におけるデータ利活用の課題を導出することができた

- ③ 平時における防災関連情報のデータ利活用のニーズを探索することができた

得たこと

活動イメージ

令和4年度の実績計画

活動① ユースケースの実装に向けた データ収集・提供方法などを具体化

- A 発災時のデータニーズの詳細検討
- B データ連携方法の検討

活動② 防災関連のデータ利活用事例の創出を継続

- C 平時のデータニーズの探索
- D オープンデータの認知向上を通じた活用促進

活動①②共通の取組

- E データフォーマットの検討

今年度の取組内容

第6回WGでは、今年度の取組内容「A・C・D」を対象

活動① ユースケースの実装に向けた データ収集・提供方法などを具体化

A 発災時のデータ ニーズの詳細検討

- ユースケース具体化に向けた詳細ニーズの確認や課題解決方法を導出

B データ連携方法 の検討

- 発災時の状況下で、速やか、かつ円滑に、データ提供できる方法を検討
- データ利用者のニーズに応える為のデータ連携方法(流れ)を検討

E データフォーマットの検討

- データ利用者が、効率的にデータ利活用を実現するための、データフォーマット/形式、データ変換手法を検討(紙媒体やPDF、地図情報など、データ利活用を含む)

活動② 防災関連の データ利活用事例の創出を継続

C 平時の データニーズの探索

- 新たなユースケース創出に向けたニーズ・期待値導出

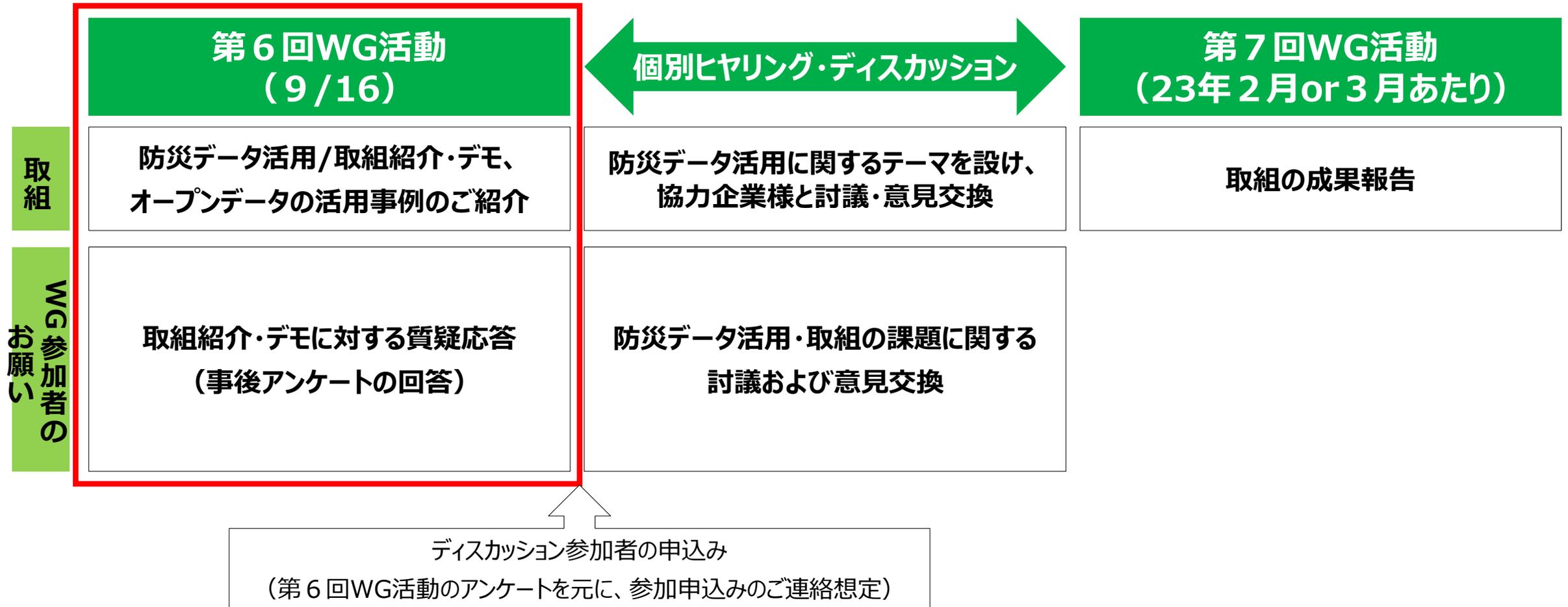
D オープンデータの 認知向上を通じた 活用促進

- TDPFから提供できる防災関連データ/活用事例把握
- データの認知・利用価値を高めるため、そのデータ活用シーンを検討

防災データWG 今年度活動全体像

今後個別協議含めた活動を想定

WG参加企業の取組を題材に、防災データWGの課題解決に寄与



個別ヒヤリング・ディスカッションのテーマ

**本WG参加者から協力企業を募り、
論点整理後に限られたメンバーでの個別協議による密な議論を想定**

ディスカッションテーマ（想定）

**避難所データに関して
行政データと民間が持つデータの掛け合わせ
(避難所データの利用シーン/価値化の検討)**



**取り扱うテーマを幅広く募集
(本日のWG事後アンケートにて募集)**

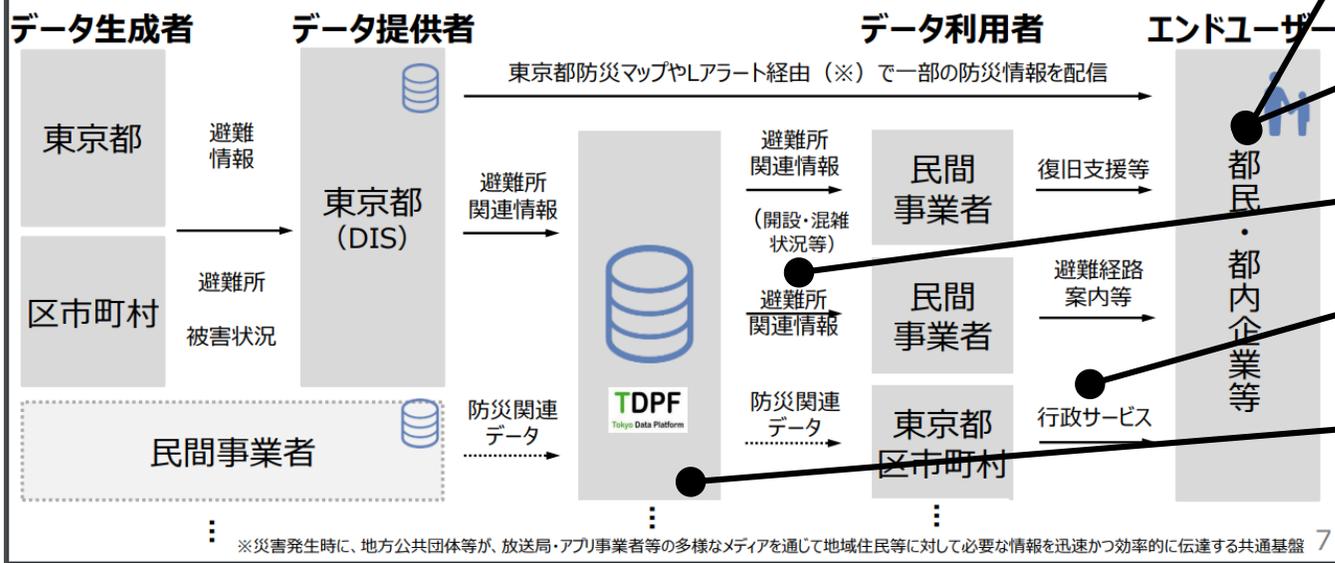
防災データ活用の取組紹介

防災WGのユースケース創出に向け5W1Hの観点で、検討箇所を洗い出し
各企業の取組紹介を通じて、TDPFの取組を深堀（課題解決）

昨年度検討したユースケースイメージ

ユースケースイメージ①（発災時）

東京都災害情報システム（DIS）で収集した避難所等の情報を
復旧支援や避難経路案内等に利活用



検討要素	TDPFでの想定内容
いつ (When)	平時または発災時
どこで (Where)	(事例やユースケースに依存)
誰が (Who)	都民・都内企業
何を (What)	防災に係るデータだが、詳細はケース依存
なぜ? (Why)	平時/発災時の防災データ利活用 (最終的には都民QOL向上)
どのように (How)	検討中 (論点B「データ連携方法の検討」)

TDPFへの取組を深堀

防災データ活用の取組紹介 事業者ご紹介

防災データ活用の取組紹介していただく3社のご紹介

企業名（敬称略）	ご紹介内容	詳細内容
① アールシーソリューション 株式会社	自治体向け防災アプリ等のサービス	<ul style="list-style-type: none">✓ 避難所/避難者の情報連携と共有✓ エリア災害対応支援アプリケーションの事例紹介(新宿駅周辺の取組)
② ESRIジャパン 株式会社	「ArcGIS」を活用した防災の取組	<ul style="list-style-type: none">✓ プラットフォームにおける地理空間情報の活用、TDPFとの連携✓ 避難所情報の事例紹介(東京都 日野市)
③ 三井住友海上火災保険 株式会社	自治体向け防災ダッシュボード	<ul style="list-style-type: none">✓ 自治体における防災減災行動や復旧活動の支援事例✓ オープンデータ課題の事例共有

令和4年度 第6回防災データWG アジェンダ

1. 取組概況とユースケース具体化に向けた検討方針の提示

民間事業者の取組事例を題材に、TDPFに必要な機能、連携のあり方等を検討

2. 防災データ活用の取組紹介

自治体向け防災アプリ等のサービス - アールシーソリューション株式会社

「ArcGIS」を活用した防災の取組 - ESRIジャパン株式会社

自治体向け防災ダッシュボード - 三井住友海上火災保険株式会社

3. 今後の進め方

**各社取組ページは
別添参考資料をご覧ください**

令和4年度 第6回防災データWG アジェンダ

1. 取組概況とユースケース具体化に向けた検討方針の提示

民間事業者の取組事例を題材に、TDPFに必要な機能、連携のあり方等を検討

2. 防災データ活用の取組紹介

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 自治体向け防災アプリ等のサービス | - アールシーソリューション株式会社 |
| 「ArcGIS」を活用した防災の取組 | - ESRIジャパン株式会社 |
| 自治体向け防災ダッシュボード | - 三井住友海上火災保険株式会社 |

3. 今後の進め方

「ArcGIS」を活用した防災の取組

**各社取組ページは
別添参考資料をご覧ください**

令和4年度 第6回防災データWG アジェンダ

1. 取組概況とユースケース具体化に向けた検討方針の提示

民間事業者の取組事例を題材に、TDPFに必要な機能、連携のあり方等を検討

2. 防災データ活用の取組紹介

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 自治体向け防災アプリ等のサービス | - アールシーソリューション株式会社 |
| 「ArcGIS」を活用した防災の取組 | - ESRIジャパン株式会社 |
| 自治体向け防災ダッシュボード | - 三井住友海上火災保険株式会社 |

3. 今後の進め方

自治体向け防災ダッシュボード

**各社取組ページは
別添参考資料をご覧ください**

TDPFへのニーズ・期待値の整理

取組紹介を踏まえ、各社が持つTDPFへのニーズや期待値を整理 今後実施されるディスカッションの活動に活かす

各社発表内容のポイント（抜粋）

データニーズ

- 民間事業者が取り扱うことが難しい**社会インフラ情報の提供**
（社会インフラ情報は、**災害行動の判断基準**にとっても有効）
- 避難者が、避難所の中で、**支援側に回るための情報**
（個人情報扱わない範囲で、**避難者の経験やスキル情報**など）

データ連携

- TDPFがデータ連携のハブになり、**国・自治体や事業者をつなげる仕組み**
- 情報の信頼性を担保でき、且つ、即時性ある情報の連携
（SNS情報と公的データを組み合わせ、**信頼性を高める仕組み**）

データ流通

- データの取り扱いが**不慣れなユーザでも扱えるデータ/情報提供**
（どのようなデータがオープン化されているか）

令和4年度 第6回防災データWG アジェンダ

1. 取組概況とユースケース具体化に向けた検討方針の提示

民間事業者の取組事例を題材に、TDPFに必要な機能、連携のあり方等を検討

2. 防災データ活用の取組紹介

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 自治体向け防災アプリ等のサービス | - アールシーソリューション株式会社 |
| 「ArcGIS」を活用した防災の取組 | - ESRIジャパン株式会社 |
| 自治体向け防災ダッシュボード | - 三井住友海上火災保険株式会社 |

3. 今後の進め方

防災データWG全体スケジュール

防災データWG



★第5回WG(5/25)

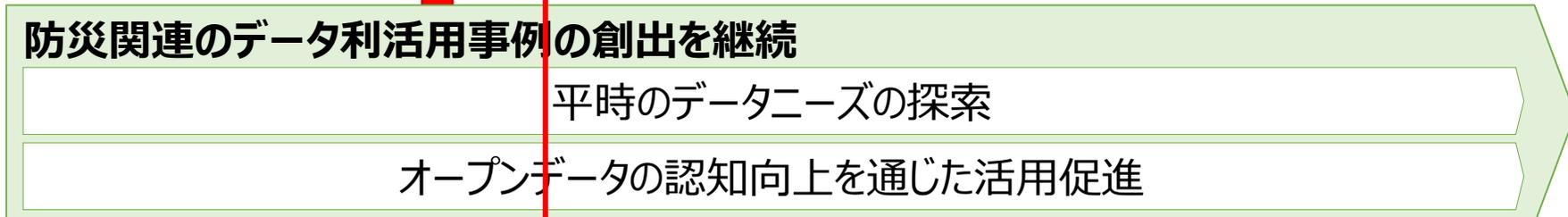
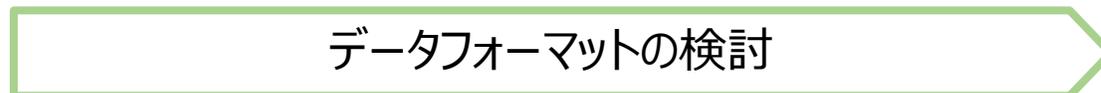
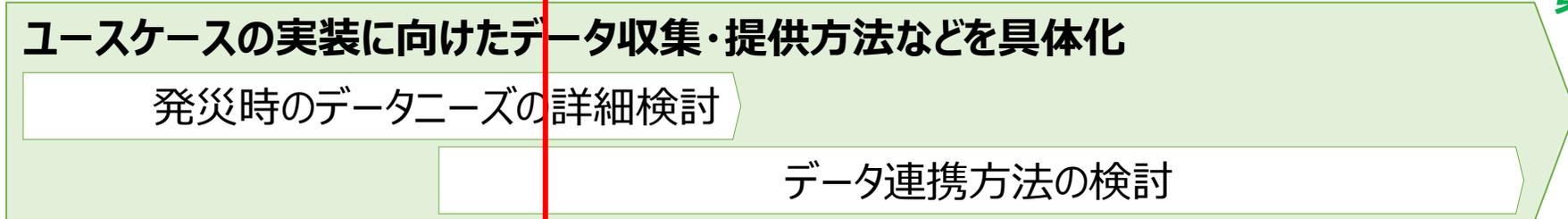
★第6回WG(9/16)



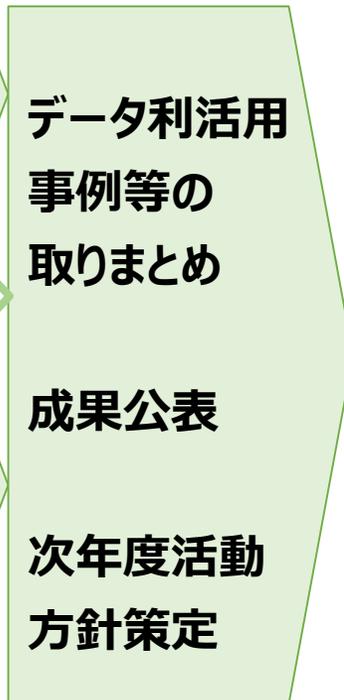
★第7回WG(予定)

活動①

活動②

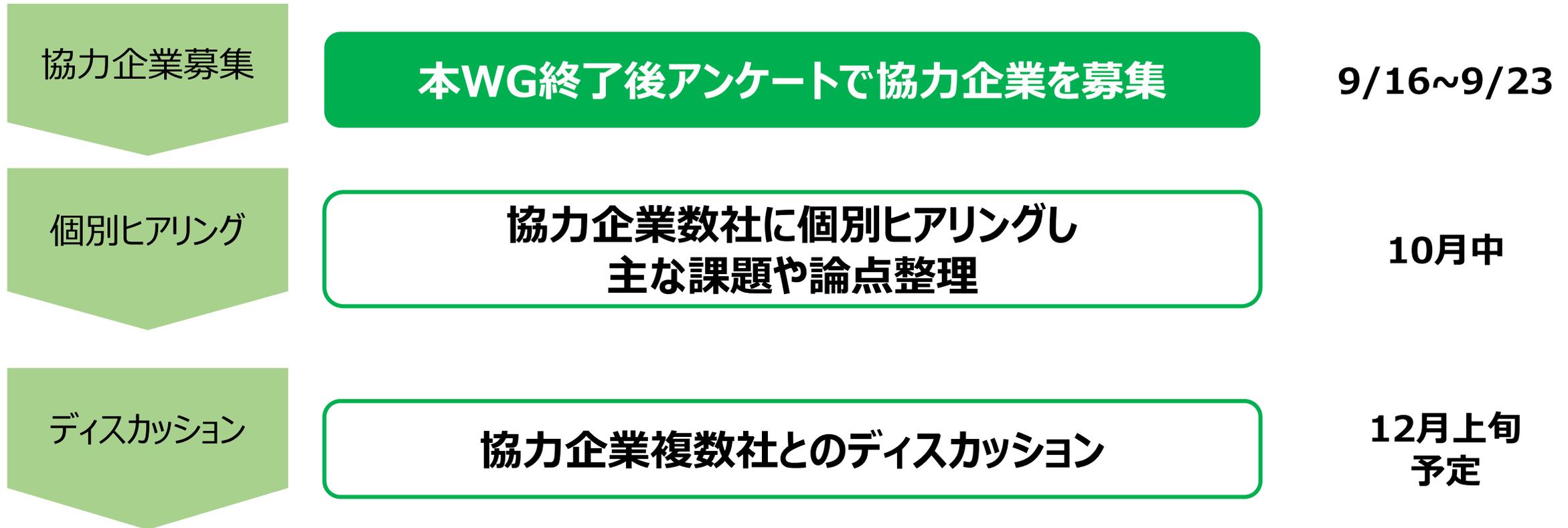


取組①,②と相互に連携し、
課題検討などを実施



個別ヒアリング・ディスカッションの流れ（想定）

本WG参加者から協力企業を募り、
論点整理後に限られたメンバーでのディスカッションによる密な議論を想定



年度末にWGで結果を共有し、次年度以降の活動につなげる

**本WG参加者から協力企業を募り、
論点整理後に限られたメンバーでの個別協議による密な議論を想定**

ディスカッションテーマ（想定）

**避難所データに関して
行政データと民間が持つデータの掛け合わせ
(避難所データの利用シーン/価値化の検討)**



**取り扱うテーマを幅広く募集
(本日のWG事後アンケートにて募集)**

TDPF事業 今後の予定について

TDPF協議会
第6回推進会議

10月
上旬

TDPF各事業の今年度取組状況や、新規WG立ち上げ検討内容の紹介などを予定

都知事杯オープンデータ・ハッカソン
Final Stage

10月12日
(水)

都のオープンデータを活用したハッカソンを開催中。「都知事杯」等を決定するFinal Stageでは、視聴者投票により決定する「オーディエンス賞」も新設。ぜひご参加ください

事務連絡

本会議終了後、アンケートを送付します。ご協力お願いいたします。

本協議会のSlackグループにご参加いただける方は、アンケート内にアカウント作成に必要なメールアドレスをご記入ください。皆さまのご参加お待ちしております。

Slackチャンネル構成変更のご案内

令和4年9月よりSlackのチャンネル構成を以下のように変更します。
皆様のご意見をお待ちしております。ぜひご活用ください。

	新チャンネル名	内容の説明
一般系	#01_イベント紹介・自社PR(general)	イベント情報や自社サービスに関する情報をお待ちしています。
	#02_気になる情報・雑談	技術やサービスに関する情報などを、ツイート感覚でお気軽にご投稿ください。
	#03_自己紹介	Slack未参加の皆様は、こちらにて自己紹介をお願いします。
	#04_このSlackについて	Slackの利用ルールなどを発信致しますので、お困りの際はこちらをご覧ください。
	#05_データマッチング・利活用事例紹介	「こんなデータがほしい」や「こんなデータを提供できる」といった情報をお寄せください。
	#06_オープンデータリスト	世の中にどのようなデータがあるのかを知見共有するためのチャンネルです。
	#07_デジタルツイン	デジタルツインに関する情報をお届けします。
	#99_なんでも相談チャンネル	いまさら聞けない質問と思ったものでも、受け付けます。ぜひご利用ください。
WG系	#08_WG-WG活動	WGの結果報告や進捗状況などを発信します。

ご清聴ありがとうございました
防災データWGは以上で終了となります
次のプログラムのエリア連携WGは15時00分から開始します

以下のQRコードがチャットに投稿したURLよりアンケートへのご回答をお願いします



※本アンケートは3WG分のアンケートです

- **ご退室される方**
ご参加されたWGの設問のみ
ご回答をお願いいたします。
- **以後のWGにも参加される方**
ご参加のWGが全て終了後に
ご回答をお願いいたします。

URL : <https://forms.office.com/r/Du1M6cfYmJ>